らくだ図書館

常木らくだの小説投稿ブログ

常木らくだ

JINKE 小説大賞 - 2019.11.01 Fri

こんにちは、らくだです。
小説家になろうで「JINKE 小説大賞」が始まりました。

主催は中国の金科文化という会社です。
大賞を受賞した作品は中国で映像化されるとか。

応募要項をチェックしましたが、さすがに国外企業の主催だけあって、今までのなろう系コンテストとは趣を異にするようです。

【JINKE 小説大賞】
http://www.jinkeculture-syosetu.com/

・募集テーマ
「働く女性」「サスペンス・推理もの」「ファンタジー」「復讐もの」「ヒューマンドラマ」「学園純愛もの」「ゲーミフィケーション」

上記サイトの説明によると、ゲーミフィケーションとは、「読者の選択によって物語の展開と結末が変わるようなストーリー」だそうです。

そんなこと小説で出来るの？
やるとしたらこういう感じ？

曲がり角で転校生とぶつかって転んじゃった！
⇒ひとまず謝る（3 ページへ）
⇒スカートの中を覗く（8 ページへ）

ネット小説ならリンクを貼って、「好きな方に進んでね！」が可能だから、一応まあ成立はしそうですよね。

今の例はとりあえず微妙ですが、従来のコンテストとは明らかに雰囲気が違うので、新天地を求めている皆様はチェックしてはいかがでしょうか。

印刷のプライバシー - 2019.11.02 Sat

プリンターの調子が悪いので、久し振りにネットカフェへ行ったんですが、印刷のプライバシー（？）が確保されていて感動した件。

・印刷ボタンをクリック
・PC に 6 ケタの番号が表示される
・プリンターまで行ってその番号を入力する
・その場で自分のドキュメントだけが印刷される

これなら印刷を実行すると同時にプリンターへ全力疾走して他人に見られたくないドキュメントを確保する必死の努力が必要ないじゃないですかやったー！

というわけで。
片手でコーヒーを飲みながら優雅に印刷して参りました。

会社で小説原稿を印刷して他部署の同僚に見られた自分にとってこのシステムを考えた人はマジで神。

ちなみに折角なのでマンガも読んできました。
棚いっぱいに並んだネットカフェのマンガはいつ見ても圧倒されます。

それでふと思ったんですが、創作物ってすごい勢いで生産されて、また同時にすごい勢いで消費されて、ほとんどの作品は儚く一瞬で消えていくんだなぁって。

なろうのランキング等を見ても、最近は月単位で作品が総替わりする状況だし、歴戦の作者でもトップに留まり続けることは難しいんだなと感じます。

それでも、作品自体が消えていくとしても、そこから受け取った感動は本物だし、何年・何十年単位で心に残り続けますよね。

それこそが創作の魅力ですし、これからもたくさん読んで、そして同時にたくさん書いて、ずっと創作に関わっていきたいと思いました。

らくだ図書館（91） - 2019.11.03 Sun

【らくだ図書館（91）】
http://p.booklog.jp/book/128808

今回は初旬にアップできました！
3 連休ありがとう愛してるチュッチュ！

というわけで 10 月分のパブー版を配信しました。
ごくたまに謎の大量アクセスがあるのでこれからも続けようと思います。

さてさて。
これだけでは 4 行で終わるので今日のランチを載せてみる。

ナンがすごく……大きいです……。

それはそうと最近サグカレーがマイブーム。
ほうれん草を使った緑色のカレーですがこれが美味しい。

色が色なので最初は抵抗がありましたが、スパイスの刺激がほうれん草でいい具合に中和されて、すごく優しい味だし食物繊維もたっぷりの健康食。

もちろんこんな色でも味はちゃんとカレーです。
一口食べるとカレーは茶色であるという固定観念が粉砕されます。

とまあ、こうしてサグカレーを推している私ですが、最初に食べた時の理由は「マトンカレーがないから仕方なく頼んだ」なんですけどね！

結果的に素敵なメニューに出会えたので良かったですが。
これからも見た目で敬遠せず色々な料理を開拓していきたいです。

LINE 活用法 - 2019.11.04 Mon

自分で言うのも何ですが、らくだ図書館の過去ログを見直していて、ここ一年で写真のクオリティ下がったなと感じました。

仕方ないぜ……。
今まで旦那の一眼レフで撮ってたけど去年離婚したからな……。

まあ格安スマホ写真でも、気持ちは伝わっていると思うので、インスタ映えとか気にせずにどんどん載せていこうと思います。

ところで、スマホの写真を PC に送るのって、何気に結構大変だな～って思いませんか？

クラウドソフトは設定が面倒。
かといって毎回 USB ケーブルで繋げるのも手間。

私はそんなわけで LINE を活用しています。
リア友が一人もいなくたって LINE は活用できるのです。

まず自分一人のグループを作って、そこにどんどん写真を投げ込み、PC からアクセスして必要な画像を取り出すという。

ただ LINE って構造的に誤操作が多いんですよね。
先日はうっかり同窓会グループを選択しそうになって肝を冷やしました。

ランチ画像だったら唐突な飯テロで済みますが、推しキャラの水着スクショとかだったりしたら、10 年越しのオタバレ自爆テロっていう無駄に壮絶な事件が起きるわけで確認大事。

あとアニメ系のスタンプも一人グループなら押し放題ですし、既読を気にする必要もないですし、今後も非リアなりに LINE を活用していこうと思いました。

スコア集計について - 2019.11.05 Tue

こんにちは、らくだです。

先日始まったカクヨムロイヤルティプログラムですが、スコア集計に関する告知が公式ブログに出ています。

【参加者のスコア集計について】
https://kakuyomu.jp/info/entry/klp_status_announce

開始時から参加していた場合、今後のスケジュールは次の通り。

・10 月末日　10 月の集計期間終了
・11 月 12 日　管理画面でアドスコアが確認できるようになる
・12 月中旬　アドスコアから算出された額のカクヨムリワードを付与
（リワードが 3,000 を超えていた場合、この時点で振込申請を行うことが可能）
・12 月下旬　申請から約 7 営業日で登録口座へ振込

というわけで、リワードがいきなり 3,000 を超えていても、初回の報酬を受け取れる時期は最短で 12 月下旬となります。

仮に超えなかったとしても、1 年間は消えない仕様らしいので、3,000 貯まった時点で申請できる感じですね。

ちなみに具体的な集計基準は非公開。
今後公開されるアドスコアを見て各自想像するしかありません。

とはいえ参加費もいらないですし、登録して損になることは特にないので、カクヨムに作品を載せている皆様は参加を検討してみてはいかがでしょうか。

以上、カクヨムロイヤルティプログラムのスコア集計に関する話題でした。

キュンとするフレーズ教えて！- 2019.11.06 Wed

こんにちは、らくだです。

カクヨムとビーズログ文庫が「秋の恋月間・キュンとするフレーズ教えて！」というキャンペーンを開催中。

期間限定で公開中のビーズログ 13 周年試し読み 8 タイトルを読んで『作中に出てくる最も「キュン」とする “フレーズ” または “しぐさ”』を応募する企画です。

【キュンとするフレーズ教えて！】
https://kakuyomu.jp/info/entry/bslog13th_lovemonth

・開催期間　11 月 6 日（水）〜11 月 30 日（土）
・投稿方法　カクヨム運営公式の近況ノートページのコメント欄から応募
・応募点数　一人何作品でも応募可能
・当選賞品　該当作品の著者直筆サイン本（抽選 8 名）

せっかくこんな話題なので！
わたくしの萌えツボを語ってもよろしいですか！

まあ色々ありますが、キュンとする男性の仕草をあえて 1 つ挙げるならば、これに尽きるでしょう。

「グラスを上から持つ」

口の広いウィスキーグラスを、横からでなく上から持って飲むというのは、かなり手が大きくなきゃできない芸当で、オトコを感じる瞬間ですね。

というわけで男性の皆様はグラスを上から持って是非。
ただし常木らくだ以外の一般女性に効果があるかは不明です。

以上、「キュンとするフレーズ教えて！」キャンペーンの紹介でした。

本のある風景 - 2019.11.07 Thu

こんにちは、らくだです。

以前このブログでチラッと紹介した「第 3 回・趣味活コンテスト『“本” のある風景〜わたしの読書ライフ〜』」のノミネート作品が発表されました。

選出された 20 本は下記ページでチェック可能。
11 月 8 日〜17 日まで投票を受け付けているようです。

【第 3 回・趣味活コンテスト】
https://segask.jp/article/detail/3377

このコンテストは「あなたのとっておきの読書風景を写真に撮って紹介しよう」という企画でした。

読書好きにとって「本のある風景」は胸が躍るものです。
どの作品も応募者のこだわりが伝わってきてそれぞれに素敵でした。

中でも自分がいいなと思ったのは「No.17 日記とブックカバー」。

この写真の応募者さんは、手帳の月間表に読んだ本を書き込んでいるそうで、これは自分もぜひ参考にしたいアイディアだなーと。

これを続ければ読書記録になるし、自分の読書ペースも把握できるし、なにより後で見返した時に楽しそうですよね。

今は何でもネットで済んでしまう時代ですが、ページをめくるワクワク感は紙の本ならではですし、あの感覚は個人的に読書の醍醐味だと思います。

そんな贅沢な読書の時間を大切にしたい。
ノミネート作品の素敵な写真を見て改めてそう感じました。

ガンダムの思い出 - 2019.11.08 Fri

こんにちは、らくだです。

カクヨムで開催された異色のコンテスト「『アニメ新世紀宣言』体験談コンテスト」の結果が公式ブログに掲載されました。

【『アニメ新世紀宣言』体験談コンテスト】
https://kakuyomu.jp/contests/animec_2019

募集内容が 1981 年のイベントに関する思い出だったので、さすがに応募できる層が限られていたと思いますが、それでも 23 本の作品が集まった事実にガンダムの偉大さを感じます。

ここで個人的なガンダムの思い出を 1 つ。
私が小学生だった時「ガンダムＺＺのコミック買ってこい」と兄に頼まれました。

その頃からパシられていた私は、当時珍しかった 500 円玉を握り書店へ走りましたが、見つからないのでレジのおばちゃんにメモを見せました。

おばちゃん「ガンダム……ゼットゼット？　今探すからちょっと待ってね〜」

おばちゃんありがとう……。
でも正しくは「ダブルゼータ」って読むんや……。

まあでも普通は読めないですよね。
というか逆に正しく読めたら中二パワー高すぎ案件。

別にそれだけでオチもないですが、80 年代からそんなタイトルを付けていたガンダムは、間違いなく時代を牽引する先進的な作品だったと断言できます。

ということを思い出しつつ受賞作品を読んでみたいと思いました。

昔話リメイクコンテストの結果- 2019.11.09 Sat

こんにちは、らくだです。

公募ガイドの特集企画「昔話をミステリータッチにリメイク！ コンテスト」の結果発表がありました。

下記ページで入選作 8 本を確認できます。
選出された皆様はおめでとうございます。

【昔話をミステリータッチにリメイク！コンテスト】
https://www.koubo.co.jp/reading/tanpatsu/oubo/mystery.html

本企画はツイッター応募だったので、書ける文字数に制限がありましたが、どの作品も想像力をビシバシ掻き立てられる内容です。

それでふと思ったのですが。
昔話って現代風にアレンジできそうな作品が多いなと。

＜パッと浮かんだ例＞
・俺 TUEEE 桃太郎の無双旅
・浦島太郎の竜宮城ハーレム
・ライバル蹴落とし勝ち上がり系シンデレラ
・マッチ売りの魔法☆少女（マッチを擦ると魔法を使えるが代償に自分の命を消耗する）

普遍的な昔話のストーリーを踏襲しつつ、そこに現代的な要素を付け加えることで、まったく新しい作品が生まれそうですよね。

上の例なら自分が書きたいのはシンデレラでしょうか。
ドロッドロな醜い争いを書きつつ継母と姉 2 人を陥れたいです。

以上、「昔話をミステリータッチにリメイク！ コンテスト」の結果発表でした。

続・胸キュンの話 - 2019.11.10 Sun

みんな共感してくれるだろうと思って書いた胸キュン萌えポイントが誰の共感も呼ばなかったのでこんなの絶対おかし（以下略）

なんでなん？
グラス上から持つの最高やん？

あのワイルド感！
あの飲み慣れてる感じ！
ちょっと疲れた感じだと更によい！

まあグラスだけに限らず、男性の手って女性より一回り大きいので、ふとそれに気付いた瞬間はドキッとするものです。

そうそう。
手が大きいと言えばスマホの操作。

たとえば自分だと親指が画面の端まで届かないので、仕方なく逆の手で操作するわけですが、周囲を見ると片手で使っている人が多いですよね。

なんて思っていたら、先日朝の満員電車の中で、両手にスマホを持ってそれぞれ別のソシャゲを進めている男性を目撃しました。

せやな……。
艦これのランカーレベルならそれくらいするわな……。

その芸当も手が大きくないと無理ですが、それは別に胸キュンしなかったというか、「同志乙（真顔）」みたいな気分になりました。

それはともかく、ときめきは創作の原動力になりますし、皆様も何気ない日常の中で積極的に胸キュンしていきましょう。

イートイン脱税 - 2019.11.11 Mon

最近よくニュースなどで「イートイン脱税」という言葉を耳にします。

イートイン脱税とは、持ち帰りですと申告して消費税 8 %で購入した後、買った商品を店内で食べて消費税 2 %を払わないという行為です。

飲食中にそんな人を見かけたら不愉快ですよね。
自分は 10 %払ってるのに……という気分になるでしょう。

しかしこれ、そういう問題が起こるのは事前に想定できたわけで、それでもこの制度を導入した政府の側もどうかなぁ……というのが個人的な感想だったり。

なお軽減税率への対応は店舗によってまちまち。
店内飲食と持ち帰りを同価格に設定している企業もあります。

たとえば日本マクドナルドの場合。
540 円の商品を買った時の内訳は以下の通り。

・店内飲食の場合　540 円（本体 491 円＋消費税 49 円）
・持ち帰った場合　540 円（本体 500 円＋消費税 40 円）

店内飲食の消費税は 10 %ですが、本体価格が安く調整されるので、支払う金額は持ち帰りもイートインも同じというわけです。

実際は 8 %と 10 %が混在しているので、会計処理は相変わらず大変なんですが、お客様にとっては値段を覚えやすいですし、不平等感をなくす意味でもいい取組なんじゃないでしょうか。

というマクドナルド方式がいいか、それとも 2 %安くなった方がいいか、答えは人それぞれだと思いますが、色々とややこしい制度なのでしっかり情報を掴んで対応していきたいですね。

アドスコア確認しました - 2019.11.12 Tue

カクヨムロイヤルティプログラムですが、10 月中に参加登録した人は、アドスコアを確認できるようになりました。

詳細は下記ブログ参照。
計算方法やレートなどが載っています。

【10 月分のアドスコアをロイヤルティプログラム参加者に付与しました】

私も 10 月に登録したので、ちょっぴりドキドキしつつ、どれくらい貯まっているかチェックしました。

倍率、ドン！

というわけで。
初回のスコアは 24 でした。

上のブログには「おおよそ 18〜20 スコアにつき 1 リワード程度となる見込み」と書いてあるので私の収益は約 1 円ということになります。

やったね！
小説を書いて 1 円稼いだよ！

なおこのペースだと 1 年間の収益は 12 円。
自販機の下を調べて小銭を拾った方が早い気がします。

まあ私は放置気味なのでこういう結果ですが、真面目に活動している方にとってはモチベーションが上がるでしょうし、今後カクヨムの目玉システムに成長して欲しいですね。

カニが届きました - 2019.11.13 Wed

こんにちは、らくだです。

11 月に入って以降、街はイルミネーションで彩られ、軽快なクリスマスソングが流れ、どこもかしこもロマンチックな雰囲気で溢れております。

だがそんなの関係ねえ！
11 月最大のビッグイベント＝カニ漁解禁に決まってるだろ！

こちらは鳥取県にふるさと納税して今日届いたカニ。

テンションが上がって色んな角度から撮影しました。
ばらして調理するのが勿体ないくらい立派なカニです。

鍋に入れたら大変美味しゅうございました。
夏から予約していた甲斐があったというものです。

あと自分が美味しかったのはもろろん、両親にもすごく喜んでもらえたので、その意味でも注文して良かったです。

鍋は一人より大勢で囲んだ方が絶対に楽しいですよね。
去年の冬は旦那が夜逃げして一人ぼっちだったから余計にそう感じるのかも。

なお私は今とても幸せです。

失った息子を想うと、自分が幸せであることに対して申し訳ない気持ちもありますが、そういう切なさや心苦しさも自分の一部として大事にしつつ、これから先も全力で人生を楽しみたいと思っています。

エッセイ公募対策実力テスト - 2019.11.14 Thu

こんにちは、らくだです。

公募ガイドが「エッセイ公募対策 実力テスト」を開催中です。
自分の文章力が入選レベルかどうか診断してもらえる企画です。

詳細は以下ページをご覧ください。

【エッセイ公募対策実力テスト】
https://www.koubo.co.jp/reading/tanpatsu/oubo/shindan.html

・応募資格　公募ガイド 12 月号の購入者
・課題締切　 2019 年 12 月 8 日（日）
・規定字数　 1,000 字以内
・返送時期　順次診断し 2020 年 1 月末日までに返送

課題は下記 2 つ。
応募できるのは 1 人 1 編でどちらか選択する形式です。

Ｑ 2「序論・本論・結論」の構成で文章を書く。割合は２：７：１ぐらい。
Ｑ 3「現在・過去・現在」の構成で文章を書く。割合は１：８：１ぐらい。

ちなみに下の構成は「サンドイッチ・フォーマット」という形式だそうです。
最初に現在から書き始め、途中で回想などを挟み、また現在に戻る形式ですね。

話の前提は一応エッセイですが、このサンドイッチ・フォーマットは、小説（特に短編）でも有効に使えそうな気がします。

公募ガイドの添削は有料の場合が多いですが、今回は「本誌の購入者なら誰でも OK」なので、文章力を試してみたい方はいかがでしょうか。

メールアドレスに関する注意喚起- 2019.11.15 Fri

こんにちは、らくだです。
カクヨムがメールアドレスに関する注意喚起を載せています。

簡単にまとめると「メール送っても返信こないケースが多いからちゃんと確認してね」という内容です。

【カクヨムに登録している連絡先について】
https://kakuyomu.jp/info/entry/2019/11/14/171624

最近は広告がわずらわしいという理由から、ユーザー登録は捨てアドレスを使用するなんてケースも多いですが、重要な連絡がないか定期的に確認しましょう。

なおカクヨムから送られるのは以下のようなメールです。

・コンテスト応募作品の確認依頼
・投稿作品の書籍化打診のお取次
・キャンペーンの当選連絡
・お問い合わせへの回答

特に気になるのは「投稿作品の書籍化打診のお取次」。

たしか利用規約にも書いてあったはずですが、コンテストに参加していなくても書籍化の打診がくる場合があるらしいので、そんな機会は逃さずキャッチしたいところです。

もちろん人気作品限定でしょうけどね……。
収益１円の我が小説にスカウトなんぞ来るまい……。

まあそれはそれとして、キャンペーンに当選する可能性は皆にあるので、やはりメールアドレスは定期的にチェックした方がいいと思います。

顔認識モニター広告 - 2019.11.16 Sat

軽減税率マジ無理……。
もうヘロヘロだからタクシーで帰る……。

ってわけで会社帰りにタクったら、座席の前にモニターがついていて、「顔認識でお客様の性別と年齢を判定して最適な広告を表示します」と書いてあったわけですよ。

何なの？
顔で人を判断するの？

お前、世の中しょせん顔がすべてだって言うのか！？（違う）

まあそれはさておき、ドキドキしますよね。
性別間違われるのもショックだし、年齢間違われるのもショックだし。

そんなわけで緊張しつつ待ったら、性別も年齢も正しく認識されたようで、ミドルエイジの女性向けの広告が流れ始めたのですが。

＜内容＞
ベビー服、ベビーおむつ、ベビーおもちゃ、こどもちゃ〇んじ

ちょい待ち？
ベビーの映像は私のトラウマ直撃だぜ？

というわけで、顔は正しく認識されたけど、激しい精神ダメージを喰らって、電車で帰るよりむしろ疲れてしまいましたトホホ。

なお降車時によく見たら「広告を停止する」というボタンがあった件。

最近地元のタクシーは、必ずこのモニターがついているので、次回からは乗った瞬間に止めようと思いました。

カクヨム講評会 2019 - 2019.11.17 Sun

こんにちは、らくだです。

カクヨム小説創作オンライン講座 2019。
第 1 回から第 7 回の結果が出揃ったのでまとめてリンクを掲載します。

この企画は、過去のカクヨムコン応募作に編集者が選評を書いてくれる企画で、合計 30 作品がコメント＆詳しい点数評価と共に紹介されています。

【第 1 回講評】
【第 2 回講評】
【第 3 回講評】
【第 4 回講評】
【第 5 回講評】
【第 6 回講評】
【第 7 回講評】

自分が気になったのは『勇者様が帰らない（第 1 回)』に対する以下コメント。

「WEB でずっと読み続ける分には今の構成でも構わないのですが、書籍化を前提とした賞で受賞を目指すのであれば、ストーリーにもうちょっとメリハリをつけた方がいい」

これは書き手にとって悩ましい問題だなと。

確かに投稿作品なら 1 冊で起承転結を付けた方がいいですが、完結未定のウェブ連載の場合、作品が終わるような書き方は基本的にしたくないですからね。

最初からどちらかに絞っているならいいですが、実際は兼任している作者も多いだろうし、どちらに寄せるかは難しい問題だと思います。

他にも色々な発見があり、参考にできる部分も多いと思うので、皆様もよろしければ是非チェックしてみてください。

「進行形」の力 - 2019.11.18 Mon

こんにちは、らくだです。
公募ガイドの連載「気ままに公募ママ」が更新されました。

筆者の塩田友美子さんは、若者を考えるつどい 2019 の第 32 回エッセイで、佳作を受賞されたそうです。

特典として受賞作の作品集が届いたらしく、今回の連載は、それを読んだ感想がテーマとなっています。

【「進行形」の力】
https://www.koubo.co.jp/reading/rensai/article/koubomama/191118_01.html

筆者は学生時代の思い出を書いたそうですが、上位受賞者の人達は「今起きていること」を書く傾向があって、進行形のエネルギーを感じたということがコラムの中で語られています。

確かに思い出話もそれはそれでいいですが、今まさに起こっている進行形の出来事の方が、読み手の心情として何となく興味を惹かれますよね。

あと進行形でエッセイを書くと、書くたびに違うことが書けるので、そのあたりも面白いと思います。

たとえばお題が「結婚」だった場合。
10 年前の私と今の私ではまったく違う文章を書くでしょう。

エッセイは特に顕著ですが、小説の場合も基本は同じで、時間がたてば同じテーマでも違った切り口で書けるのではないでしょうか。

というわけで。
自分も創作に対して常に進行形で取り組んでいきたいと思いました。

＃捨てたい就活体験記 - 2019.11.19 Tue

こんにちは、らくだです。

今回紹介するのは「＃捨てたい就活体験記」のエッセイ募集。
その名の通り就活のちょっとニガイ思い出を募集するコンテストです。

【＃捨てたい就活体験記】
https://mirror.asahi.com/article/12786614

なお新卒時の就活ではないですが、私の最近のニガイ思い出はコレ。

【アルバイトの面接に行って「勤務開始までに黒い革靴を買ってください」と言われ見本写真まで見せられたのに結果が不採用だった件】

まあ落ちたのは自分の能力不足だろうけどさ……。
落とすつもりならそういう説明しないでくれよな……。

と思っていましたが、その後色々あってもっといい仕事が見つかって、無駄に買ってしまった革靴も毎日愛用しているので、ニガイ思い出も自分の頑張り次第でいい教訓にかえられますよね。

よしよし。
こういうテーマで応募しよう……ん、参加資格？

対象：18歳から29歳の女性

またこのオチですか！！！！！（涙）

というわけで、私は応募資格を満たしておりませんが、対象年齢に該当する女性がいらっしゃれば、就活の思い出について語ってみてはいかがでしょうか。

極濃大喜利キャンペーン - 2019.11.20 Wed

こんにちは、らくだです。
趣味は創作とポテトチップスのやけ食いです。

さてさて。
皆様はポテトチップスの極濃シリーズをご存知でしょうか。

薄味、ヘルシー、低カロリー。
そんな世の風潮の真逆を行く「極めて濃い味」の期間限定ポテトチップス。

その極濃シリーズが大喜利キャンペーンを開催中。
当選すると極濃ポテトチップス 1 ケースが貰えます。

【極濃大喜利キャンペーン】
https://www.calbee.co.jp/gokunou/

・応募内容　極濃マンガの最後のセリフを考える（大喜利）
・受付期間　 2019 年 11 月 11 日（月）～11 月 24 日（日）
・当選賞品　極濃めんたいマヨ味 1 ケース（12 袋入り）

課題のマンガはキャンペーンサイトに。
数コマの単発マンガなのですぐに読めます。

なお最後のセリフは、
「この濃さ、〇〇〇〇〇〇〇」

世間的には薄味が好まれる最近ですが、「ポテトチップスを買う時＝ジャンクフードが食べたい時」なので、濃い味のニーズは確実にありますよね。

以上、極濃大喜利キャンペーンの紹介でした。

受賞者ギャラリー更新 - 2019.11.21 Thu

こんにちは、らくだです。
コバルトイラスト大賞の受賞者ギャラリーが更新されました。

受賞作品はもちろん、受賞者さんの描き下ろし新作イラストや、コバルト文庫で実際に使われた挿絵などが掲載されています。

全員ではありませんが、人によっては個人サイトへのリンクも載っているので、お気に入りの絵師さんがいる方はチェックしてみてはいかがでしょうか。

【受賞者ギャラリー】
http://cobalt.shueisha.co.jp/contents/illust_prize_winners_gallery/

イラストの力って凄いですよね。
1 枚の絵からその世界の空気まで伝わってくるというか。

自分は絵心がないので、技術的なことはわかりませんが、純粋に見ていて楽しいと感じました。

なお現在のイラスト大賞は、「架空の小説の表紙を描く」というテーマですが、これの逆バージョンがあったら面白そうだなと思ったり。

つまり、
・挿絵が 3 枚くらい提示される
・そこからストーリーを想像して小説を書く
・小説の内容と同時にイラストとのマッチ具合が評価される

この形式だと書くのはもちろん、発表時に他の作品を読むのも楽しそうですし、投稿企画の一環として実施して欲しいな～と思います。

以上、コバルト受賞者ギャラリー更新の話題でした。

デスゲーム - 2019.11.22 Fri

こんにちは、らくだです。
えんため大賞のゲーム部門「自作ゲームコンテスト」の 1 次発表がありました。

以下リンク。
通過された皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】
https://www.enterbrain.co.jp/entertainment/originalgame_3_entry.html

通過リストを見ましたが、最近はデスゲームが流行していて、今回の通過作品も半分くらいはその系統です。

デスゲームというとアレですね。
密室や孤島などの閉鎖空間で人が順番に殺されていくという。

この系統で真っ先に思い浮かぶ作品は、アガサ・クリスティの名作ミステリー『そして誰もいなくなった』。

ゲームではなく小説ですが、「次は誰が殺されるんだろう」という恐怖と好奇心で、初めて読んだ時はページをめくる手が止まらなかったのを覚えています。

というわけで、デスゲームは小説向きの題材だと思いますが、ゲームだと自分の選択肢で進行が変わるので、さらに緊張感を持って作品に没入できますし、人気ジャンルなのも納得という感じです。

なお最終発表は 12 月上旬だとか。

予想通りデスゲームが受賞するのか、それとも他のジャンルが巻き返すのか、結果発表を楽しみに待ちたいと思います。

ブラックフライデー - 2019.11.23 Sat

ブラックフライデー商戦に乗せられてゲーム衝動買いした奴 wwwww

私ですが何か？（真顔）

というわけで。
ニンテンドースイッチライトを購入しました。

最近スマホゲームばかりやっていたので、ハードを買うのは 2011 年の 3DS 以来ですが、やはりゲームに特化した機器は遊び心地がいいですね。

まずフリーズがない。
もちろんアプリ落ちもない。
複雑な操作しても処理速度めっちゃ早い。

正直 3DS には不満があったので、スイッチも半信半疑で買ったんですが、3DS の不満点がほぼ全部解消されていて任天堂の本気を見ました。

なお最初の話に戻りますが、ブラックフライデーとはアメリカの感謝祭の翌日に行われるセールのことで、2016 年から日本でもイオンを中心にセールが開催されるようになったそうです。

自分はこの制度まったく知りませんでした。
まったく知らないけど突然のセールに便乗した系。

まあ由来は何にせよ安売りは嬉しいので、あまり浸透していないプレミアムフライデーに比べたら、こっちの方が消費者にとっては嬉しい金曜日なんじゃないかなと思います。

以上、ニンテンドースイッチ購入報告でした。

カクヨム小説創作オンライン講座 2019 - 2019.11.24 Sun

こんにちは、らくだです。
カクヨム小説創作オンライン講座 2019 が開講しました。

講座といっても通学する形式ではなく、作品形式で公開されているので、カクヨムで誰でも読むことが可能です。

内容は全 3 回。
字数にすると 6,400 字程度です。

【カクヨム小説創作オンライン講座 2019】
https://kakuyomu.jp/works/1177354054892293828

・Vol.1 ｜アイデアの種を生みだそう
・Vol.2 ｜アイデアの種を膨らませてみよう
・Vol.3 ｜膨らませたアイデアを物語にまとめよう

上記の流れでアイデア出し〜実際の完成作品が紹介されています。
例はショートショートですが長編でも活用できる内容だと思いました。

ちなみに私、創作論はあまり好きじゃないんですが（だから成長しねえんだという罵倒はやめてね心が折れちゃう）この講座は「創作を楽しむこと」を重視していて好感度が高かったです。

アイデア出しの最中って基本的にワクワクしますよね。
書ける力量はさておき脳内であれこれ考えるのは自由ですし。

落選経験を重ねると、良くも悪くも慎重になってしまうものですが、まずは基本的な「ワクワク」を自分自身が楽しむのも大事だなと改めて認識しました。

というわけで、読めば発見があると思うので、皆様もよろしければチェックしてみてください。

カクヨム甲子園 2019 中間発表- 2019.11.25 Mon

こんにちは、らくだです。

カクヨム甲子園 2019 の中間発表がありました。
応募総数 1,232 本の中から計 36 本が中間通過した模様。

以下リンク。
通過者の皆様はおめでとうございます。

【ショートストーリー部門】
https://kakuyomu.jp/contests/kakuyomukoshien2019_short

【ロングストーリー部門】
https://kakuyomu.jp/contests/kakuyomukoshien2019_long

タイトルが気になった通過作品をいくつか見ましたが、どれも高校生が書いたと思うと、フレッシュさに胸がキュンとなるアラフォーバツイチ。

若いっていいですよね。
特に若い時の恋愛っていいですよね。

昔は高校生カップルを見るとイラっとしたものですが、現在の自分は「国破れて山河あり」の心境なので、素直に彼らの交際を応援したい気持ちが起こります。

ワイは戦線を離脱する……。
せめて君らは幸せになっておくれ……。

という独り言はさておき、ショート部門は 4,000 字ですし、ロング部門も上限 20,000 字なので、どの作品も割と手軽に読むことができます。

皆様も高校生のフレッシュな文章に触れてみてはいかがでしょうか。

俺 TUEEE の需要 - 2019.11.26 Tue

自分が初めてプレイした 3D ゲームは PS2 のキングダムハーツです。
ただ昭和生まれの自分は 3D キャラを上手く操作することができませんでした。

ディズニーコラボが売りのゲームなのに、ミッキーどころかサブキャラにさえ 1 人も会えず、無人島を 1 時間ほど徘徊して冒険が終わった件は今でも深刻なトラウマです。

だがしかし！
人は成長するものだ！

今では無双系 3D アクションにのめり込み、夜更かしを重ね会社を遅刻するまでになったのだから、自分の進化には目覚ましいものがあると思います進化だよね？

ところで先週スイッチ買って、無双ゲーム初めてプレイしたけど、何なのこれめっちゃ楽しい。

無限に湧きまくるモブを、派手なアクションで蹴散らしていると、まるで自分が強くなったように手軽に錯覚できるという。

今まで小説を書いたり読んだりする中で、俺 TUEEE の良さがイマイチわからなかったんですが、なるほど読者が得たいのはこの感覚なんだなと納得しました。

ラノベの読者って高校生〜大学生くらいの年齢ですよね。
大きいお友達はさておき一般的には 10 代後半そこそこなわけで。

その頃って身体は大人だけど、基本的におカネもないし、異性関係もままならないし、なかなか現実ではいい思いができないと思うんですよ。

だからこそ俺 TUEEE に需要があるわけで、社会が変わらない以上この傾向は今後も続いていくだろうと、夜更かししながら一人で考えた次第です。

新潮文庫× LINE ノベル「青春小説大賞」- 2019.11.27 Wed

こんにちは、らくだです。
新潮文庫× LINE ノベルによる「青春小説大賞」の応募受付が始まりました。

応募要項は以下。
先週の水曜日から募集が始まっています。

【青春小説大賞】
https://novel.line.me/contests/2

・募集内容　学校、部活、友情、恋愛など「青春」にまつわる物語
・受付期間　 2019 年 11 月 20 日（水）～2020 年 2 月 28 日（金）
・結果発表　 2020 年 4 月予定
・規定字数　 20 万字以内（要完結）
・受賞特典　賞金 10 万円＆新潮文庫で書籍化
・応募方法　 LINE ノベルに作品を投稿しコンテスト参加ボタンをチェック

目立った部分は規定字数の上限でしょうか。
完結前提で 20 万字まで応募可能となっています。

それからもう 1 つ。
最終選考委員に三木一馬さん（元電撃編集長）のお名前があるんですよね。

ちなみに三木さん、すっごいベテランのイメージだったんですが、生年月日を見たら自分とそんなに違わなくて微妙にショック。

いや別に悪い意味じゃないですよ。
年齢近いのに自分は何も出来てないなって思っただけで。

とにかくそういうわけなので、黄金時代の電撃文庫が好きだった方は、こちらの賞をチェックしてみてはいかがでしょうか。

収益プログラム参加作品の新人賞応募について- 2019.11.28 Thu

こんにちは、らくだです。

何度も紹介している通りカクヨムで収益プログラムが始まりました。
私は 1 円を稼ぎましたが換金は 3,000 円以上なので引き出すことができません。

さてさて。

以前からたびたび問題になっていた、このプログラムで広告収入を得ることは「作品の商用利用」に該当するのかという問題に対して、カクヨムが見解を発表しています。

【プログラム参加作品の新人賞応募について】
https://kakuyomu.jp/info/entry/2019/11/25/000000

カクヨム側としては商用利用にあたらないという認識で、以下のコンテストについてはお墨付きが出ています。

＜応募して問題ない賞＞
MF 文庫 J ライトノベル新人賞、角川つばさ文庫小説賞、角川ビーンズ小説大賞、角川文庫キャラクター小説大賞、スニーカー大賞、電撃大賞、ビーズログ小説大賞、ファンタジア大賞、富士見ノベル大賞、その他カクヨムで開催するコンテストすべて

なお電撃大賞のみ、
「但し、応募時点で Web 上での公開を取り下げている場合に限る」

という注意書きがあります。
応募する際は作品の公開を停止しましょう。

以上、収益プログラム参加作品の新人賞応募に関する話題でした。

書き出しツイートキャンペーン- 2019.11.29 Fri

こんにちは、らくだです。

本日より第 5 回カクヨムコンがスタートしました。
それにあわせ「書き出しツイートキャンペーン」が開催中です。

応募予定の作品の書き出しをツイートすると抽選で 30 名に図書カードが当たるという企画です。

【キャンペーン詳細】
https://kakuyomu.jp/info/entry/wc5_tweet_cp2

・開催期間　2019 年 11 月 28 日（木）～12 月 4 日（水）
・応募資格　ツイッターアカウントがあれば誰でも OK
・参加方法 「#カクヨムコン５スタート」のハッシュタグをつけてツイート
・当選賞品　オリジナル図書カード 1,000 円分（30 名様）

こういうツイッター系のキャンペーンって、創作専用のアカウントならいいんですけど、変にリア友が混じってたりすると「は、コイツ何言ってんの？」状態になる可能性大。

特に今回は小説の冒頭ですからね。
まあハッシュタグがあれば企画だとわかるでしょうが。

なお自分の場合、色々説明すると上手くいかないので、最初の一文は短いセリフで始めることが多いかも。

ただ冒頭が説明でも読みやすい作品はあるし、書き出しをどうするかは、作者の個性が出て面白い部分だと思います。

以上、書き出しツイートキャンペーンの紹介でした。

シチュエーション斬りコンテスト結果発表- 2019.11.30 Sat

こんにちは、らくだです。

カクヨムで開催された「スニーカー文庫《シチュエーション斬り！！》コンテスト」の結果発表がありました。

【発表ページ】
https://kakuyomu.jp/contests/sneaker_situation

＜今回のシチュエーション＞
・お隣さんの美少女がなぜか俺に惚れている
・双子のヒロインが迫ってくる……どっちもどっちで選べねえ……

選評を読んで思ったのですが、ラノベ飽和状態の今の時代において、「美少女ヒロインがあの手この手で主人公に迫ってくる」状態はもはや書けて当たり前。

自分が書けるかは別問題ですよ。
そこはとりあえず置いときましょう。

とにかくヒロインが可愛いのは当たり前なので、それ以外の「彼女は主人公がいない場面でどんな行動をしているのか」をしっかり書けると、一歩差別化できるんじゃないかと思いました。

陰で好かれるための努力をしていたり。
ライバルとの人間関係に悩んでいたり。

直接迫ってくるシーンでなくとも、そういう描写があるとヒロインの真剣さが垣間見えるし、自然と好感度も上がりますよね。

まあ自分の場合、書けて当たり前の部分も書けてないわけですが、次から「それ以外の部分」もちょっと意識してみようと思いました。